

GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2015

5

Vol. 4 No.5



口絵

山口県美祢市産大理石石材「霞」にみられる石炭 - ペルム紀の造礁生物群
中澤 努・藤川将之・上野勝美 129~130

アジアの鉱物資源図—Mineral Resources Map of Asia—
神谷雅晴・大野哲二・寺岡易司・奥村公男・渡辺 寧 131~132

アジアの鉱物資源図—Mineral Resources Map of Asia—
神谷雅晴・大野哲二・寺岡易司・奥村公男・渡辺 寧 133~137

地学教育教材 Emriver ジオモデルのご紹介と若干の水理学的考察 七山 太 138~141

地質で語る百名山 第3回 早池峰山 内野隆之 142~144

2014年(第50回) CCOP年次総会参加報告 原 淳子・内田利弘 145~152

日本地質学の軌跡6 井上禧之助と小川琢治：日露戦争下の地質調査 鈴木 理 153~157

● ニュースレター

2014年度第3 四半期(10月~12月)地質相談報告 下川浩一 158~159

CCOP-GSJ/AIST-DGR Groundwater Project Phase III Kick-Off Meeting 開催報告 内田洋平 159~160

表紙説明

2013年1月28日に機内から撮影された室戸半島と室戸ジオパーク

太平洋側上空から室戸半島を望む。左手奥に霞むのが高知平野。室戸半島の基盤は、複雑に変形した重力流堆積物からなる中新世の付加体である。室戸岬斑れい岩体は、約1400万年前にこの付加体中にシル状に貫入したとされる。一方、海岸では明瞭な完新世段丘が認められ、南海地震によって引き起こされた波食棚の累積変位を見ることができる。このように、室戸半島は、海洋プレートの沈み込みと南海トラフに沿って起こる巨大地震によって新しい大地が誕生する場にあり、2011年9月20日に室戸ジオパークは、ユネスコから世界ジオパークに認定された。(写真・文：七山 太¹⁾ 1) 産総研 地質情報研究部門)

Cover Page

Muroto Peninsula and Muroto Geopark taken from an airplane on January 28, 2013. (Photograph and caption by Futoshi Nanayama).